

ソルベント・リサイクラー600SIJの主な故障原因



①蒸気取り入れ口をエアブローや、ブラシ等で溶剤滓を取り除いていないと、だんだんと穴を塞いでいきます。

②完全に取り入れ口の穴を塞いでしまっています。
これでは蒸気を吸い込めません。



③取り入れ口の中もびっしりと詰っています
このような状態ですと、コンデンサーの中も入り込んでいる可能性が高いです。
その場合は、ほとんどコンデンサー交換となります。



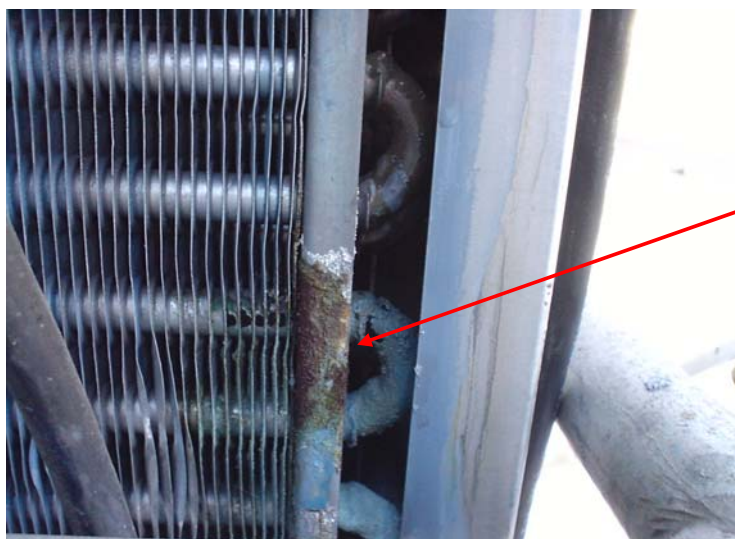
④蓋シールの部分を拭いておらず、写真のように塗料や、ゴミが付着していると、蓋とタンクの密閉が悪くなり、蒸気漏れに繋がります。また、蓋シールの劣化を早める事にもなります。

⑤ウレタンや、発泡する廃溶剤を大量に投入すると加熱中に膨らんできて一部が蒸気取り入れ口に入り込みます。そうしますと取り入れ口の穴を徐々に塞いで行き、行き場を失った蒸気が蓋を押し上げて、蒸気漏れになります。



⑥写真のようにコンデンサーにホコリやゴミが大量に付着しますと冷却効率が悪くなり、配管に蒸留カスがこびり付く事があり、配管を詰まらせる原因となります。

⑦写真のように排出口チューブが変形している場合は、⑥のコンデンサーが詰まり高温の溶剤が下まで来ている証拠となり、早急にコンデンサーの掃除をして下さい。



⑧廃溶剤の中に、少量の酸、アルカリ系の物質が混入していると、溜まった蒸留液がコンデンサーの配管を腐食して、蒸留ガスが噴出して躯体部品を腐食しています。

⑨廃溶剤の中に、少量の酸、アルカリ系の物質が混入して、溜まった蒸留液がコンデンサーの配管が腐食して穴が開いています。

